

地域のボランティアスクール

ふれあい

横浜みどりの学校ひまわり

2022年3月号 No.52

こんな学校があってもいいかも（既存の教育にとらわれない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、10年前に開設されました。

教育の好機

校長 渡辺 正彦

ひまわり農場の光風に心を和ませる4月が到来して、私塾、「横浜緑の学校ひまわり」の新たな年度がスタートしました。設立11年を迎える本校は今年から通信制コースの新設や経済的苦境に立たされている子どもと保護者を支援する「ひまわり子供支援財団」の設立など活動の範囲を広げております。

ひまわりの活動が活発化する中で、あるボランティアから活動についての疑問が出ました。「ひまわりの子どもは自由を謳歌するのはよいが朝からテレビゲーム三昧、これで良いのだろうか、自分が彼等と同年齢の時にはもっともっと勉強に真剣に取り組んでいたのに」と。このような疑問はきっと保護者の多くも抱いていることでしょう。

個性豊かなひまわりの子ども達は、その個性や卓越した才能により既存の学校での生活に疑問を感じたり、中には息苦しさや恐怖すら感じている者が殆どです。彼等はひまわりに平和と安心感を求めてやって来ます。拘束感のないひまわりでは、朝から勉強に励む子ども、テレビゲームに向かう子ども、ボランティアの大人との会話を求める子どもなど様々です。ひまわりでは基本的に子ども達への「自由」が担保されます。

禅の言葉に啐啄同時という言葉があります。これは師と弟子の呼吸が一致するときに悟りが得られるというものです。啐は鳥の雛が産まれるために内側から殻を破ろうとすることであり、啄はそれを察知した親鳥が外側から殻をつついて支援することです。雛と親鳥の共同作業により雛は誕生し、新たな第一歩を踏み出します。

横浜みどりの学校ひまわりの子ども達は多くの課題や思いを抱えて来校します。彼等の課題や思いはそれぞれが異なり、そのステージも違います。私たち支援者は、そんな子ども達に大人の権威で強制や拘束を押しつけることはしません。根気よく好機を待つことにしております。子ども達が勉強の必要性に気づき、彼等が新たな一歩を踏み出すサインを示す時まで。教育とは「教師の計画により勉強を一方向的に強要するのではなく、自らが勉強をしようとする思いを抱く環境支援」なのです。雛が内側から殻をつついて鳴く声を見逃さないように私たちも子ども達の小さな変化を敏感に察知するようにしたいと思います。好機には時間的制約や制限はありません。校種や学年も関係ありません。自らが羅針盤の見方を変えた時、自らが新たな一歩を踏み出す決意をした時こそが新たな支援の好機なのです。熱意溢れる指導者（支援者）や実績のある指導者（支援者）にとって「待つこと」は困難を伴うことかも知れませんが、子どもを信じて「待つこと」こそが啐啄同時につながります。

今日も勉強に励む子ども達とは別にテレビゲームに興じる子ども達の声が弾みます。

横浜みどりの学校ひまわりの学校の日常が始まります。

先生は、横浜市の元小学校教員で、個別支援学級での指導実績も長くあります。
先生は、子ども大好き人間です。「子どもは発達途上、できないことがあっても、失敗しても大丈夫。今を一生懸命に生きている子どもを認めたい。」そんな子供観を持つ先生がひまわりでかつての教え子と再会しました。ひまわりでは、子ども達との日常的な会話の中からその子の良さを認めて支援するとのことです。

子どもを型にはめない穏やかな先生の支援にも心を許す子ども達も増えております。

趣味の手芸による人形づくりも子ども達に大人気です。

青葉区梅丘在住



校内人事

- ・高校教師で発達障がい対応型塾に勤務経験のあるA先生（男性）が勤務します。
- ・A学院大学生のB先生（女性）が4月半ばより勤務します。
- ・本校の活動の中心のC先生が新潟県の中学校教師として赴任のため退職します。
- ・Y国立大学、G国立大学院生と長きにわたりボランティア活動をして下さったD先生（女性）が公認心理師資格獲得と就職のため退職します。
- ・公認心理師E先生とF先生（共に女性）が都合で一時休職扱いになります。

ひまわり活動の様子



◇令和3年度「ひまわり小さな卒業式」実施 3月26日（土）

今年からボランティアさんの発案により小学校と中学校の卒業生を対象に「ひまわり小さな卒業式」を実施しました。当日はお祝いの「愛情たっぷりひまわりカレー」の提供もありました。小さな学校の手作り卒業式が出席した子ども達の心にそっと響いたことでしょう。関係の皆様ありがとうございます。

◇3月の「ひまわりふれあいレストラン」開店 3月26日（土）

フードバンク神奈川からの提供食材や「オーガニック栽培」のひまわり野菜を使った今回のメニューは、「愛情たっぷりひまわりカレー」と「免疫力アップ、フルーツポンチ」の組み合わせです。ボランティアシェフの方々の力作をコロナの感染に留意し卒業生も交えて楽しく頂きました。

◇退職ボランティア激励会 3月12日（土）

就職などで退職するボランティアに対する感謝と激励の会が実施されました。当日は都合で教員になる S 先生のための出席になりました。子ども達の手で進行されました。寄せ書きの贈呈の他に質問コーナーなど楽しい一時を過ごしました。社会に旅経つ先生達を、ひまわりの子ども達が応援しています。



◇3.11 鎮魂キャンドルナイト 3月12日（土）

今年の 3.11 震災犠牲者の鎮魂を行うキャンドルナイトは、コロナ禍のために規模を縮小して、ひまわりの前を流れるしらとり川沿いの遊歩道で行われました。当日は、青葉台南商店街会長の下山和正氏が中心になりひまわりの子ども達と保護者、ボランティアが準備に加わりました。3.11 を風化させぬように、ひまわりではこの活動に対して未長く賛同・協力したいと思います。



◇ひまわり農場だより

いよいよ春の農業シーズンが到来しました。ひまわり農場では養鶏など飼育担当ボランティアと農業担当ボランティアあわせて10数名の皆様が活動しております。ウコッケイの卵の他にブロッコリー、かき菜、白菜、ヤーコンなどの収穫が行われております。今後は夏野菜を中心に農作業が行われます。ひまわり農場では、無農薬栽培を基本としております。生産物の原価販売しております。農業ボランティアさんも募集しております。



今月のひまわり推薦図書

「幸せになる勇氣」アルフレット・アドラー著

著者のアドラーはオーストリア出身の精神科医、心理学者です。同名の前著「嫌われる勇氣」の後編です。この本はアドラーの心理学について対話形式でわかりやすく書かれております。アドラーは、人生の喜びや悩みはすべて人間関係に帰結すると説いておりその人間関係の悩みは年齢に関係なく常に我々に付きまとうものだが、幸せを感じたり、楽しい時間を過ごす時にも誰かの存在は不可欠であると説いております。人間関係に悩む人が増加する現代にあってこの本は、その様な人にとっての生き方の示唆になるかも知れません。



(ひまわりで貸し出しができます)

～学芸大学大学院生（臨床心理学）N先生推薦

ボランティア募集

【内容】子どもの見守り、学校事務など

【条件】・週2回以上勤務可能な方

・オンラインでの指導が可能な方

・臨床心理士など有資格者

以上のような方を特に求めています。

★ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、
渡辺（090-9201-3992）までお気軽に
お問い合わせください。

最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/>
とFacebookにてアップデートしています。